

ヒロハノコヌカグサ(イネ科)

Aniselytron treutleri (Kunze) Soják var. *japonicum*
(Hack.) N.X.Zhao

兵庫県：Cランク

環境省：-

種の概要

フサガヤに外形はやや似ているが、本州(中部地方以西)の深山の林中にまれにはえる。葉は扁平で、幅1-2.2cm、円錐花序は広卵形で長さ20-30cm、幅10-15cm、まばらに小穂をつけてやや直立する。小穂は小枝に圧着し、長さ3.5mm位、緑色で扁平である。小花は成熟すれば苞穎から離れて落ちる。苞穎は広披針形で内折し、第1苞穎は長さ1-1.5mm、第2苞穎は2-2.5mmになり、護穎よりも短い。護穎は鋭頭。花は6-7月。

国内分布

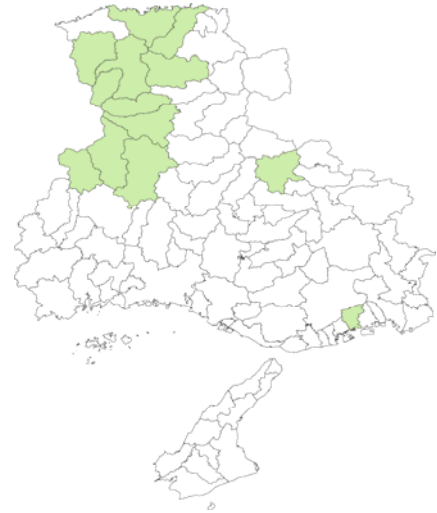
本州(中部以西)

県内分布

温泉町、村岡町、美方町、香住町、竹野町、日高町、関宮町、大屋町、千種町、波賀町、一宮町、氷上町、神戸市

選定理由

人為性		特殊性		学術性		
生育環境破壊	観賞用等採取	特殊生育環境	特異な生態	特殊な分布	分布の限界	希少
						○



特記事項

湿地っぽいところにはよくみられる。標本も多い。2009年版でBランクからCランクに変更。

保護上の留意点

生育地の保全